

1 学校教育目標

- 自ら考え、自ら学ぶ人 ○ 感性あふれる、心豊かな人 ○ 心身を鍛え、たくましく生きる人

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

- | | | |
|---------|------------------------------|------------------------------------|
| ○学校像 | ○ 生徒一人一人の可能性を伸ばせる学校 | ○ 地域・保護者・生徒から信頼される学校 |
| ○児童・生徒像 | ○ 勤勉な生徒 ○ ルールを守り礼儀正しい生徒 | ○ 他者を思いやる人 ○ 夢を育む人 |
| ○教師像 | ○ 教職としての専門性を高める教師 | ○ 自他の人間性を高める教師 ○ 組織で教育を実践する教師 |

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

<学校の現状>

○生徒は何事も明るく前向きに捉え、自分たちの力で授業や特別活動、部活動等を充実させている。授業ではノーチャイムでの始業、終業、運動の祭典「桜魂祭」では応援団や実行委員を中心に、文化の祭典「桜友会」では合唱コンクール、舞台発表、作品展示と各方面で活躍する姿が見られた。宿泊行事や学年行事ではグループ活動を中心に主体的に取り組み成果を挙げている。その原動力は「さく中魂」に象徴される千寿桜堤中学校としての伝統とその改善による自信と誇り、本校独自の品位である。その様子から保護者・地域の温かい理解と協力、教育活動の充実につながっている。

<成果>

○学校経営方針に「夢や希望をもち、自分を誇れる生徒の育成」を掲げ、学力向上アクションプランをはじめ具体的な取組を実践した。「一人一人の可能性を広げ伸ばす」を掲げ、持続可能な学力と人間性の育成を目指し多様性と包摂性のある中学校教育の具現化を図った。生徒たちは授業に真剣に取り組み、補充学習や家庭学習を充実させ、学校生活や行事では「一生懸命の精神」と自律心をもち、自分たちの力で様々な活動を充実させている。目標である「確かな学力の定着、自律心に基づいた自己指導能力と課題解決能力、豊かな人間性」の育成を生徒たちの主体的な取組により、成長を実感することができた。

- ・すべての教育活動を実施でき、それらの活動に対する保護者の皆様、地域の皆様の理解と協力、支援を得ることができた。
- ・小中連携では「言語活動を通じた表現力の育成」を重点に生徒たちの学習意欲や学習スキルの向上、教員の授業力の向上を図ることができた。

<課題及び解決の方向性>

- 「誰一人取り残さない」というSDGsの目標を掲げている。生徒全員の充実した学校生活が課題である。生徒たちが抱える悩みや困り感を早期発見、早期解決しながら生徒全員が本校での学校生活を楽しく思い、意欲的に登校できるようにし、保護者の皆様、地域の皆様からの信頼を高めていく。
- ・学校の課題：学校経営方針の具現化を図るために教職員の組織的実行力を高め、校内の教育活動のみならず、小中連携事業やPTA活動、地域活動との連携を図る。また、配慮を要する生徒への支援体制の充実を図るとともに不登校未然防止が課題。令和7年度あだち防災教育プロジェクト実施。
- ・生徒の課題：自己指導能力や課題解決能力を向上させ、確かな学力を身に付けることや豊かな感性をさらに磨く意欲を高め、豊かな心の醸成が課題。
- ・教員の課題：個々の能力や実践、人間性を尊重し、学校としての学習指導力、生徒指導力、進路指導力などの組織的な教育力を高めることが課題。
- ・保護者・地域の課題：PTAの運営本部を中心にサポーター制度を充実させ、活動への参加機会を増やし、三位一体となった良い学校づくりが課題。

| 4 重点的な取組事項 | | | | | | |
|------------|--|---------------|-----|-----|-----|-----|
| | 内 容 | 実施期間（年度） R：令和 | | | | |
| | | R 5 | R 6 | R 7 | R 8 | R 9 |
| 1 | 学力向上アクションプラン（自ら考え、自ら学ぶ人） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | 全教育活動を通じた多様な感性と豊かな心の育成（感性あふれる、心豊かな人） | | | ○ | | |
| 3 | 自己指導能力の向上による課題解決能力の育成（心身を鍛え、たくましく生きる人） | | | ○ | | |
| | | | | | | |

5 令和7年度の重点目標

| 重点的な取組事項－1 | | 学力向上アクションプラン | | | | | | | |
|--|----------|--|-------------|----------------------------|----------------|--|------|-------------|-------------|
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 (目標通過率) | | 実施結果 (通過率結果) | | コメント・課題 | | 達成度 ◎○△● | |
| <ul style="list-style-type: none"> 学力向上アクションプランの実践により、各種学力調査等に対応できる確かな学力を定着させる。 | | <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度、区学力調査通過率各学年・各教科令和6年度以上 | | | | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div> | | | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | | | | | | | |
| 新規・継続 | アクションプラン | 対象学年 実施教科 | 頻度・ 実施時期 | 具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように) | 達成確 認 方法 | 達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度) | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 ◎○△● |

| | | | | | | |
|---------|---------|---------------------------|---------------------------------|--|-----------------------------------|--|
| 1 継続 | 授業の充実 | 全学年 全教科 | 通年 | <p>(1)ICT 機器を積極的に活用し、個々の生徒に応じた学習形態を確保する。(個別学習、グループ学習や探究学習に取り組む)</p> <p>(2)小中連携による「言語活動を通じた表現力の育成」を重点とした学習活動の創意工夫を図り、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。</p> <p>(3)教員相互の授業観察を年3回以上行う。</p> | 生徒アンケート 教員アンケート | 生徒アンケート 90%以上 教員アンケート 90%以上 |
| 2 継続 | 学力向上と定着 | 生徒 各教科 | 通年 各教科 適宜 | <p>(1)適宜、学習コンテストや単元テストを行い、生徒の学力の定着度を測り、補充学習で定着を図る。 (AIドリル等の活用)</p> <p>(2)生徒自身が定期考査等の目標値を設定し達成するキャンペーンを実施 (意欲や意識の向上)</p> <p>(3)実技テストやレポート作成等を通して、各教科の目標とする資質・能力を育成する。</p> | 学習コンテスト、 単元テスト、到達度調査 実技テスト他 | 生徒全員が目標値をクリア |
| 3 継続 | 英語力の向上 | 全学年 英語科 第2学年 英語科 | 毎週1回 給食時 2年生 校外 学習時 | <p>(1)英語検定で定着を図る</p> <p>(2)毎週イングリッシュデーの放送を英語で行う。</p> <p>(3)2年生はTGGに参加し1日英語を活用した体験学習を行う。また、全学年で様々な体験学習機会を設定し、英語力の向上を図る。</p> | 生徒アンケート 教員アンケート | 英語検定受検率前 年度以上 生徒アンケート 85%以上 教員アンケート 85%以上 |

自己評価の際に記入

| 重点的な取組事項－2 | | 全教育活動を通じた多様な感性と豊かな心の育成（感性あふれる、心豊かな人） | | | |
|---|---|---|-----------|---------|--|
| A 今年度の成果目標 | 達成基準 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 | |
| ・教科や特別活動を通して多様な感性を磨き、夢や希望をもち、優しさや寛容、思いやりの心などを豊かにする | 生徒評価肯定回答 90%以上 保護者評価肯定回答 90%以上 教員評価肯定回答 90%以上 | 自己評価の際に記入 | | | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | | | |
| 項目 | 達成基準 | 具体的な方策 | 実施結果 | コメント・課題 | |
| 1 各教科で身に付けた知識や技能を活用した多様な感性や豊かな心の育成 | 生徒アンケート肯定回答 85%以上 教員アンケート肯定回答 85%以上 生徒意識調査前年度以上 | (1)各教科で身に付けた知識や技能を活用した作品の制作や発表の場を個人や集団で設け、多様な感性や豊かな心を育てる。 (2)朝読書や図書室の活用を推進する。学級文庫の活用。 | 自己評価の際に記入 | | |
| 2 道徳教育を通じたより良い生き方を考える豊かな人間性の育成 | 生徒アンケート肯定回答 85% 教員アンケート肯定回答 85% | (1)「考え、議論する」道徳の授業を推進する。 (2)すべての教育活動を通して、道徳的な態度やよりよい生き方を考える。 | | | |
| 3 授業や特別活動による自己有用感の育成と社会貢献意識の向上、帰属意識やマナー等、相互の思いやりの心の育成 | 生徒アンケート肯定回答 85% 教員アンケート肯定回答 85% | (1)生徒会活動や学級活動、行事で目標を掲げ達成する。 (2)社会貢献を意識した生徒会活動や学級活動、行事などを計画し、仲間と協力して実践する。 (3)特別活動、部活動などをおして、礼儀やマナーを身に付け、帰属意識を高める | | | |

| 重点的な取組事項－3 | | 自己指導能力の向上による課題解決能力の育成（心身を鍛え、たくましく生きる人） | | | |
|--|--|---|--|---------|-----|
| A 今年度の成果目標 | | 達成基準 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
| ・様々な教育活動において自らの目標や課題を明確にし、自己指導能力や自律心を高め、規範意識と課題を解決する能力を育成する。 | | 生徒評価肯定回答 90%以上 保護者評価肯定回答 90%以上 教員評価肯定回答 90%以上 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div> | | |
| B 目標実現に向けた取組み | | | | | |
| 項目 | 達成基準 | 具体的な方策 | 実施結果 | コメント・課題 | 達成度 |
| 1 教科や特別活動における目標達成や課題解決を通じた <u>自己指導能力の育成</u> | 生徒アンケート 肯定回答 90%以上 教員アンケート 肯定回答 90%以上 | (1)すべての教育活動に目標や課題をもつ。 (2)自分自身や仲間と協働しながら目標達成や課題解決を図り、自己指導能力を高める。 (3)教育相談機能を活かしたサポート体制を確保する。 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div> | | |
| 2 自ら考えて行動する <u>自律心</u> をもたせるとともに自ら厳しさを求め取り組む <u>自己指導能力と課題解決能力の育成</u> | 生徒アンケート 肯定回答 90%以上 教員アンケート 肯定回答 90%以上 | (1)学校生活に自ら課題をもち、その解決策を自らまたは仲間と協働的に考え解決する。 (2)何事にも自律心をもち主体的に解決する。 (3)厳しさや難しさを感じながらも意欲的に取り組む。 | | | |
| 3 行事や生徒会活動、学級活動を通じた <u>自己指導能力に基づいた課題解決能力の育成</u> | 生徒アンケート 肯定回答 90%以上 教員アンケート 肯定回答 90%以上 | (1)行事や生徒会活動、学級活動のルールなどを自分たちで決めて守る。 (2)行事や生徒会活動、学級活動の課題を自分たちで解決する。 | | | |
| 6 まとめ | | | | | |
| (1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性 (2) 保護者や地域へのメッセージ (3) その他（学校教育活動全般について） | | | 経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。 | | |

